

の匂いが思い起される青春を過ごした私にとって「熱き街」です。

△唐戸市場△ 当日の十時半にホテルロビーでR・B仲間と落ち合い、唐戸へ向かいました。毎回この市場で潮の流れと行き交う船を観ながら食す

海の匂いと「海峡のにぎり」をお腹に入れないと来関のスタートにならないのです。

△昔は山の田△ これが自分の卒業した大学か？目も心も驚くほどの立派な学棟が林立。講堂・体育館が建設され、姿・形が完備された誇れる大学の全景と言えるでしょう。全国に今や大学が乱立し、非常に厳しい時代環境の中、大学の発展した姿は



角島大橋の写真

感謝と市民の方々の支援あって充実したものと頭の下げる思いでした。

△全国の集い△ 出席の度に思うのですが、兎に角この大学は「まとまり・一致団結」がいい。それは全体の雰

囲気や進行、主催者の熱意から何時も感じています。同窓会役員は勿論、市長及び関係幹部、大学職員等々、種々の催しと郷土品の抽選と盛り上がり成功裡に続きました。

△角島△ 翌日はRB部地元の同期が合流、下関から日本海沿いに長門市へ向けて「角島」へ。突如何か東南アジアの海に架かる橋を連想させる光景に出会いました。海の碧さに感嘆の声を発し、沖合に架かる橋が美しく、何よりも通行料無料が驚き！こんなデカい橋をこんなところに架けたもんだ！でも綺麗な眺めでした。

△その後△ 新下関に帰り、各々鹿児島、大阪、広島、島根へと帰参しましたが、何時訪れても懐かしい、好い街で、恩義のある街です。

△幹事 平野 一成（十六期）△
七月二十三日（土）、澄田支部長他三名の役員の出席を頂き、邑南町に於いて、初めての中部地区《大田市、江津市、邑智郡》の交流会を行いました。県内の市大卒業生は多数いらっしゃいますが、中部地区では会員数も少なく、活動も活発ではありませんでした。

△幹事 平野 一成（十六期）△
当日は、大田市や江津市の会員の方にもお誘いをしておりましたが、都合で参加されませんでした。

中部地区交流会

島根県は地理的に東西に長く、又会員が東部に集中しているため、総会を松江市と出雲市の交互で実施しています。しかし、西部や中部、雲南部から総会に出席の方が少ないことから、平成二十八年度は交流会活動を増やし、その結果新規会員の獲得にもつながりました。

交流会活動を活発化！



若手メンバー（前3名）と懇談

雲南地区交流会

副支部長 黒田 裕文（七期）

澄田支部長体制になり、島根支部会員拡充の活動が積極的に行われてきました。

その一環として、各地区の交流会が執行部参加のもと、雲南地区において十一月二十二日、木次にて開催され、櫻井さんのお骨折りのあり、新規に三名の方が参加されました。

二十七期、三十七期、三十九期と若いメンバーと和氣あいあいに談笑

女性部交流会 (女子会)

加納 知世子（三十七期）

△ 第二回島根支部女子会に参加させ頂きました。参加者は前回と同様、同期の三名でした。今回は、支部長さん含め四名の役員の方も同席され、冒頭に支部長さんより、活動の経過報告と、今後の予定や本部の動向などの説明がありました。

最初は役員の方を目の前にして緊



昨年の女子会風景（同期の3名）

【編集後記】

△ この度、広報誌二号を発刊することができました。今号は多くの皆様からご寄稿いただき、ありがとうございました。今後も、皆様にはご意見を頂戴し、寄稿もお願いしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

△ 二月十一日の女性部交流会は二度目の大雪の真っ最中で開催が危ぶまれましたが、無事実現できました。ただ、酒豪揃いの女性に圧倒され記念撮影を失念、失礼いたしました。

（事務局）

藤江）

アンケート調査結果

島根支部は支部創立30周年にあたる平成28年度に、「組織の強化」と「支部活動の活性化」を目的にアンケート調査を実施しました。（対象者：卒業生274名、会員67名）皆様方のご協力に感謝を申し上げます。（詳細については、同窓会本部のホームページに掲載していますので、ご覧ください。）

特に卒業生の回答率が約10%と低く、関心のなさが露呈しましたが、会員の皆様をはじめ色々なご意見をいただきましたので、今後に活かしたいと思います。



新規会員2名を歓迎（前列外側）